

「弥生文化再発見プロジェクト(鳥取×岡山×佐賀)」に関する 連携協定式を行います！

日時：7月15日(水)17:05~17:30 (15:50~受付開始)カメラ位置先着順
場所：青谷かみじち史跡公園 ガイダンス棟 体験学習室(鳥取県鳥取市青谷町吉川17番地)

平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

このたび、著名な弥生時代遺跡を有し、県が主体的となって整備・公開している鳥取、岡山、佐賀の三県が連携して、弥生時代の歴史・文化について共同で調査研究を行い、各県の弥生時代の特徴を再発見し、弥生文化の多様性を明らかにしていく、「弥生文化再発見プロジェクト(鳥取×岡山×佐賀)」を立ち上げます。本プロジェクトを通じて、弥生時代研究をリードしていくとともに、その重要性及び学術的価値を日本国内及び世界に発信していきます。

このたび、本プロジェクトのキックオフとして、連携協定式を実施します。

つきましては、ぜひご出席賜りますよう、ご案内申し上げます。お手数ではございますが、メール・FAX返信にて、7月14日(火)までにご出欠をお知らせいただきますようお願い申し上げます。

実施概要

- 日時 令和8年7月15日(水)17:05~17:30 (受付:15:50~)
- 場所 青谷かみじち史跡公園 ガイダンス棟 体験学習室(鳥取県鳥取市青谷町吉川17番地)

■出席者

- ・鳥取県知事 平井 伸治(ひらい しんじ)
- ・岡山県知事 伊原木 隆太(いばらぎ りゅうた)
- ・佐賀県知事 山口 祥義(やまぐち よしのり)

■内容

- ・出席者紹介、協定内容の説明
- ・協定書署名
- ・記念撮影
- ・各県知事あいさつ(遺跡紹介)、マスコミ質疑

■プロジェクトの目指すもの

- ・弥生時代の歴史や文化について3県が共同で調査研究し、国内研究をリード。
- ・弥生文化の重要性や学術的価値を日本国内及び世界に向けて力強く発信。

※ 当日、青谷かみじち史跡公園は、令和8年度全国知事会inととりのイベント(エクスカーション 鳥取県東部の視察コース)の立ち寄り先になっていますので、ぜひご出席を賜りますようお願いいたします。知事一行が青谷かみじち史跡公園に立ち寄る時間帯は午後4時50分からです。

ご出席いただける場合は、下記メールまたはFAX返信にて、
7月14日(火)午後5時までに、別添取材申込書にてお申込みいただきますようお願い申し上げます。

【本件に関するお問い合わせ先】

鳥取県地域社会振興部文化財局とっとり弥生の王国推進課 担当: 玉木、福井、山村
TEL:0857-26-7932 FAX:0857-26-8128
メール:tottori-yayoi@pref.tottori.lg.jp

(参考)

国史跡 青谷上寺地遺跡(鳥取県)

弥生時代前期末から古墳時代前期(約2400~1700年前)にかけて営まれた港湾集落跡です。通常の遺跡では残らない木や骨などの有機物で作られた出土品が数多く見つかりました。遺跡ではモノづくりが盛んであり、とりわけ遺跡オリジナルのデザインと考えられる花卉高杯(かべんたかつき)をはじめとする精巧な木製品が目を引きまします。平成20(2008)年に国の史跡になり、令和元(2019)年に出土品が重要文化財に指定されました。

展示施設「YAYOINE(やよいーね)」では、出土品のほか、人骨から復元した弥生人に出会うことができ、屋外に再現された水辺の景観を散策することができます。



国史跡 妻木晩田遺跡(鳥取県)

標高80~100mほどの丘陵上を中心に広がる弥生時代後期後葉(約1800年前)に最も栄えた遺跡です。これまでの発掘調査で、竪穴建物跡と掘立柱建物跡を合わせ900棟以上の建物跡や、四隅突出型墳丘墓を中心とする39基の墳墓等が見つかり、鳥取県を代表する弥生時代のムラの跡です。

現在、「むきばんだ史跡公園」として整備が進められており、園内には建物や墳丘墓が復元されています。また、ガイダンス施設「やよいの館 むきばんだ」や発掘調査で見つかった竪穴建物跡をそのまま保存している「遺構展示館」もあり、弥生時代や遺跡について具体的に学ぶことができます。



国史跡 津島遺跡(岡山県)

岡山県総合グラウンドの一帯に広がる、弥生時代を中心とした遺跡です。昭和43(1968)年に発掘調査が行われた、日本で初めて、弥生時代前期(約2600~2400年前)の集落と水田が一緒に確認され、昭和46(1971)年に国の史跡に指定されました。

その後、平成17(2005)年度の岡山国体を契機に「遺跡&スポーツミュージアム」や「津島やよい広場」の整備が行われ、歴史学習や体験学習の場として、校外学習や「津島遺跡やよいまつり」に活用されています。また、スポーツや憩いの場としても県民に親しまれています。



特別史跡 吉野ヶ里遺跡(佐賀県)

弥生時代に集落や墓域が展開した大規模な遺跡で、特に弥生時代後期(約2000~1800年前)に国内最大級の環壕集落が営まれました。弥生時代におけるムラからクニへの移り変わりを知ることができ、「魏志倭人伝(ぎしわじんでん)」に出てくる「邪馬台国(やまたいこく)」の時代を彷彿とさせます。このような内容が評価され、平成3(1991)年に国の特別史跡に指定されています。

遺跡からは、膨大な量の土器や石器等が出土しており、その中で有柄細形銅剣(ゆうへいほそがたどうけん)やガラス製管玉等が国の重要文化財に指定されています。現在は、吉野ヶ里歴史公園として整備され、復元施設だけでなく様々な体験等でにぎわっています。



取材申込書

メール：tottori-yayoi@pref.tottori.lg.jp
FAX：0857-26-8128

「弥生文化再発見プロジェクト(鳥取×岡山×佐賀)」に関する 連携協定式を行います！

日時：7月15日(水)17:05～17:30(15:50～受付開始)カメラ位置先着順
場所：青谷かみじち史跡公園 ガイダンス棟 体験学習室(鳥取県鳥取市青谷町吉川17番地)

貴媒体名	
貴社名	
部署名	
ご芳名	他 名
ご連絡先	TEL： FAX：
当日の連絡先	
カメラ	ムービー / スチール
放送・掲載予定日	
備考	

※当返信用紙にご記入頂きました個人情報、個人情報保護法の主旨に照らして、慎重に取り扱わせていただきます。

ご出席いただける場合は、下記メールまたはFAX返信にて、
7月14日(火)午後5時までに、別添取材申込書にてお申込みいただきますようお願い申し上げます。

【本件に関するお問い合わせ先】

鳥取県地域社会振興部文化財局とっとり弥生の王国推進課 担当：玉木、福井、山村

TEL:0857-26-7932 FAX:0857-26-8128

メール：tottori-yayoi@pref.tottori.lg.jp